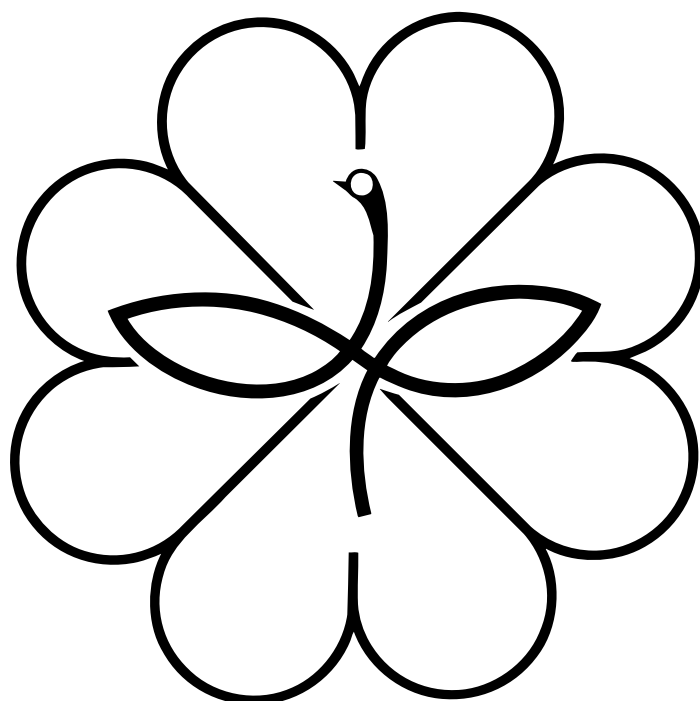


民生委員・児童委員活動報告書

広げよう 地域に根ざした 思いやり



令和8年4月

山梨市民生委員・児童委員協議会

目 次

- ①加納岩地区.....P1 ~ P3
- ②日下部地区.....P4 ~ P8
- ③八 幡地区.....P9 ~ P11
- ④山 梨地区.....P12~ P14
- ⑤日 川地区.....P15~ P18
- ⑥後屋敷地区.....P19~ P21
- ⑦岩 手地区.....P22~ P24
- ⑧牧 丘地区.....P25~ P28
- ⑨三 富地区.....P29~ P34

加納岩地区民生委員児童委員協議会 活動報告書

会長名 小河 順一

副会長名 畠本 弥生

民生委員定数 19 名 うち主任児童委員 2 名

【年間の主な行事】 (期間：2025年4月1日～2026年3月31日)

月	日	活動項目	月	日	活動項目
4	17	加民児協 4 月定例会議	9	中旬	歳末助け合い名簿作成の取組
4	中旬	避難行動支援台帳作成の取組	10	16	加民児協 10 月定例会議
4	30	山梨市民児協定期総会	11	7	加民児協研修会
5	15	加民児協 総会・5 月定例会議	11	15	加民児協 11 月定例会議
5	中旬	寝たきり高齢者，認知症高齢者 介護慰労金の取組	12	10	加民児協 12 月定例会議
5	中旬	後期高齢者の健康実態把握の取組	12	下旬	歳末助け合い品配付の取組
5	中旬	ふれあいペンダント更新等の取組	1	15	加民児協 1 月定例会議
5	中旬	寝具類洗濯サービス事業の取組	1	下旬	保育の利用を必要とする証明の 取組
8	16	加民児協 8 月定例会議	1	下旬	ふれあいペンダント更新等の取組
8	中旬	～11 月 一人暮らし高齢者， 避難時困難者等福祉マップ整備 の取組	1	下旬	～3 月上旬 配食サービス事業 更新申請の取組
9	9	加民児協 9 月定例会議	2	中旬	児童福祉施設等における創造活 動のための備品整備助成金交付 申請の取組
9	中旬	敬老祝品配付の取組	2	15	加民児協 2 月定例会議
9	中旬	市善行賞・市社協会長表彰推薦 の取組	3	15	加民児協 3 月定例会議

【取り組みの事例】	(期間：2025年4月1日～2026年3月30日)
【臨地研修】	2025年11月7日
(1) 「盲導犬の里富士ハーネス」において次の内容で研修を行った。 ① 盲導犬の役割について ② 目の見えない人、見えにくい人のサポート方法等について ③ 民生委員児童委員として、障害のある方に対するサポート等について (2) 富士山世界遺産センターにおいて、富士山を中心とした周辺地域の歴史や現状から、世界遺産としての価値、災害への対応等を学んだ。 (3) 地区活動に生かせるよう、民生委員児童委員同士の親睦を深めた。	

【一年間の評価と今後の課題】	(期間：2025年4月1日～2026年3月31日)
《評価》 ○定例会議で情報共有を図る中で、行政サービスなどの つなぎ役を適時適切に果たすことができた。 ○加納岩社会福祉協議会と連携する中で、いきいきサロン、 敬老祝品配付、歳末助け合い品配付などを推進することが できた。 ○加民児協の研修会を企画、実施する中で、研修を深めるこ とができた。	
《課題》 ●対象者を住宅地図の中に落とし込み、日常活動に活用し始 めている。不断の見直しを行っていく。 ●民生委員児童委員活動のDXを進めていく。	
【 定例会の様子 】 ◇月に一度、19:00から、加納岩公民館で開催している。 できるだけ短時間で、効率よく実施できるようにしてい る。 ◇必要がある場合には、研修の内容を設定している。 ◇共通認識が図れるよう、自由闊達な意見交流がある。	

日 下 部 地区民生委員児童委員協議会 活動報告書

会 長 名 鶴田 正英

副 会 長 名 藤原 節子

民生委員定数 18 名 うち主任児童委員 2 名

【年間の主な行事】（期間：2025年4月1日～2026年3月31日）

毎月17日日下部地区定例会、会長は毎月初旬地区会長会議（但し、6月、7月は定休）
 会長は（全国民児協大会、山梨県民児協理事会、山梨県会長会議）、会長は2か月に1回施設
 愛の家で職員と交流会議、各地区ではいきいきサロンに開催参加、有志スマイルいちのみや
 毎月研修会議と出前講座依頼、各地区お祭りの参加、各委員の交流で研修旅行、新年会
 各地域委員が訪問活動

月 日	活動項目	月 日	活動項目
4月17日	市役所防災危機管理課 避難行動要支援者台帳の説明	9月17日	県外研修 東京都復興記念館
4月30日	山梨市民生委員児童委員 協議会定期総会	10月9日	複合施設社会福祉協議会 スマイルいちのみや
6月17日	山梨市役所環境課 チャレンジ！ごみ減量化	11月18日	日下部地区意見交換
7月17日	山梨市役所市民課 デマンド型交通	12月6日	元気長生きの集い 音楽会
7月28日	愛の家 職員と交流会議	1月21日	新年会、歓送迎会
9月13日	元気長生きの集い 軽体操	3月2日～7日	元気長生きの集い ラジオ体操

【取り組みの事例】

(期間：2025年4月1日～2026年3月31日)

4月17日 山梨市役所防災危機管理課係員が避難行動要支援者台帳等の説明



6月17日 山梨市役所の出前講座 環境課

チャレンジ！ごみ減量化



7月17日 山梨市役所市民課 出前講座 デマンド型交通



9月13日元気長生きの集い 軽体操



9月17日東京都復興記念館



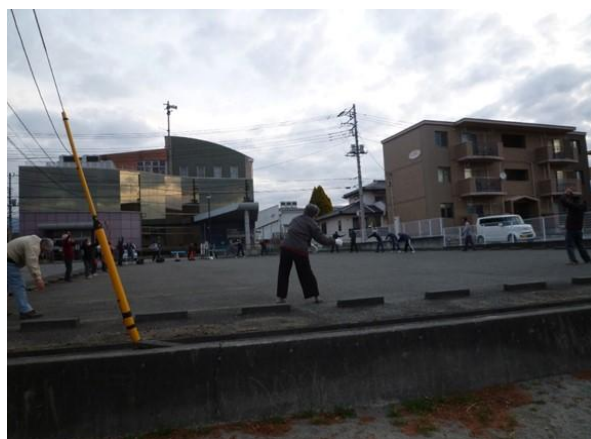
10月9日 スマイルいちのみや



1 2月6日 元気長生きの集い 音楽会



3月2日～7日 元気長生きの集い ラジオ体操



【一年間の評価と今後の課題】

(期間：2025年4月1日～2026年3月31日)

《評価》

今年は退職した人と新しく委嘱された民生委員児童委員が提出される「活動件数集計報告書」を確認すると活動状況があまりなされていない人が見受けられる。

定例会は、数人の欠席がある時もあるがほとんどの人が定例研修に参加している。

定例会時には、各民生委員児童委員が抱えている問題をみんなで意見を出し合って解決し、問題の解決に取り組んでいる。

出前講座を提案して実施したところ、各委員は今後も出前講座に前向きであった。

各委員からの要望に対しても会議に参加されている経験豊富な委員の意見を聞きながら対策をしている。

《課題》

新しい民生委員児童委員が活動状況を把握するのに時間がかかるので経験豊富な人が手助けして相談に乗ってほしい。

新しい民生委員児童委員が加入したことから出前講座を提案していきたい。

各民生委員児童委員は、研修講座があるが参加する人が少なかったので多くの人に講座を受けてほしい。

【 定例会の様子 】

会議の状況（写真）



八幡地区 民生委員児童委員協議会 活動報告書

会 長 名 日野原 和子

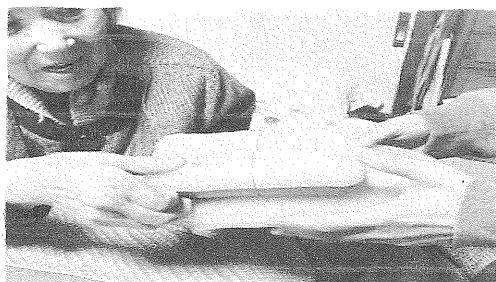
副 会 長 名 窪田 マサ子

民生委員定数 14 名 うち主任児童委員 2 名

【年間の主な行事】 (期間：2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

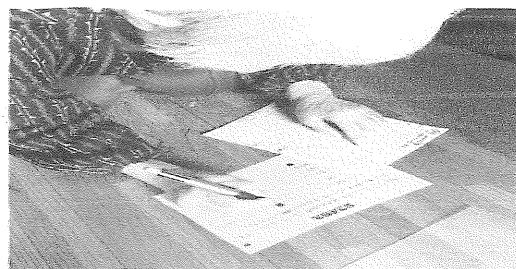
- ・ 毎月第 3 金曜日定例会 (但し 6 月、7 月は休会)
- ・ 八幡小学校運営協力委員会 (地区長出席) 6 回
- ・ 地域の高齢者施設の地域懇談会・運営推進会議出席 (2 か所 5 回)
- ・ いきいきサロンの開催
- ・ 公民館・スポーツ協会への協力
- ・ 各種研修会出席

月	内 容	月	内 容
4 月	・ 避難行動要支援者台帳の更新名簿配布 ・ 定期総会出席	1 1 月	・ 新任民生委員初顔合わせ ・ 役割分担の決定 ・ ふらっと寄り道相談会実施・協力 ・ いきいきサロン開催
5 月	・ 県民児協大会出席 (地区長) ・ 高齢者介護慰労金申請 ・ 寝具類洗濯サービスについて ・ ふれあいペンダント名簿確認 ・ 八幡小運営委員会 (地区長)	1 2 月	・ 委嘱式・総会
8 月	・ ふらっとよりみち相談会の申請 ・ 民生委員協力委員の制度について ・ デマンド型交通について ・ 敬老祝い品配布の件	1 月	・ 活動報告書記入方法について
9 月	・ いきいきサロン役員会 ・ 八幡地区民生委員懇親会	2 月	・ いきいきサロン (芸芸) ・ 公民館文化祭への協力 ・ 活動報告作成委員会 ・ 八幡地区民生委員懇親会 ・ 地域福祉交流会
10 月	・ 多職種交流会 (地区長) ・ 新委員への引継ぎ ・ 歳末助け合いの協力について	3 月	・ 八幡小学校卒業式出席 (地区長) ・ ウォーキング大会開催 ・ 活動報告作成委員会



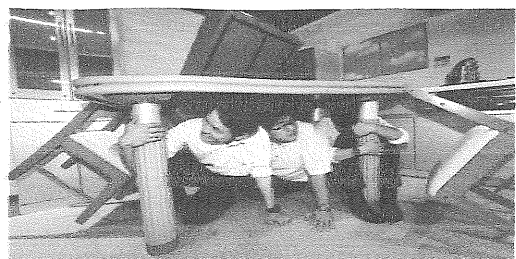
相談支援

- ①配食サービスの申請
- ②つながりカードの作成



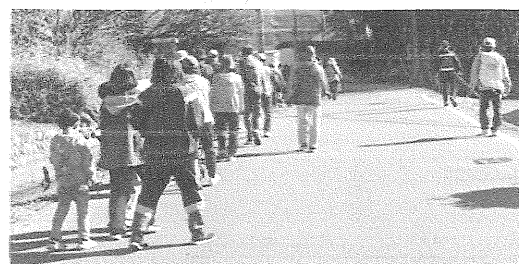
災害時における支援 のための研修

- ①立川防災館での研修



地域活動

- ①いきいきサロンの開催
- ②ウォーキングで健康づくり



公民館活動

- ①公民館文化祭への協力



ふらっとよりみち相談会 の開催



主任児童民生委員の活動

- ①登下校時の見守り
- ②地域のお祭りへの協力



【一年間の評価と今後の課題】

(期間：2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

《評価》

- 各地区において高齢者の見守りや困りごとの相談にのり、行政へとつなげることができた
- 他の委員の体験や実情の共有ができた
- 「つながりカード」の作成・配布により高齢者の把握につながった
- 担当制を取り入れたことにより、全員が積極的に運営に携わった。さらに、各自の負担を平均化できた

《課題》

- 委員各自が研鑽を積むことにより、自信を持って住民に寄り添える民生委員になる
- 住民への声掛け等により広く顔を知ってもらい、話しやすい頼れる委員をめざす
- 委員同士のコミュニケーションを密にとり、楽しい委員会活動をやっていききたい

【 定例会の様子 】



- 定例会は月 1 回第 3 金曜日に開催しています
- 他地区の情報等を共有しています
- 役割分担を決めて各自が活動しています

会 長 名 今井 徹

副 会 長 名 萩原 久子

民生委員定数 12 名

うち主任児童委員 2 名

【年間の主な行事】 (期間：2025年4月1日～2026年3月31日)

月 日	活動項目	月 日	活動項目
4月	定例会 (4/16)	10月	研修 (東京立川防災館) (10/10) (※岩手地区合同) 定例会 (10/14)
5月	定例会 (5/13)	11月	定例会及び万力1区・正徳寺・ 落合いきいきサロン (11/11)
6月	定例会休会 万力3区いきいきサロン	12月	新民生委員・児童委員 主任児童委員委嘱式 (12/1) 定例会 (新社会福祉協議会会長出席) 上岩下いきいきサロン (12/14)
7月	定例会休会 万力3区いきいきサロン	1月	各区拝賀式参加 (1/1) 新民生委員児童委員主任児童委員研修会 (1/8) 定例会 (1/15)
8月	定例会 (8/19)	2月	相談援助技術研修会 (2/2) (※大竹委員、根津委員出席) 定例会 (2/13) 上岩下いきいきサロン (2/22) 主任児童委員研修会 (2/27) (※上野委員、佐野委員参加)
9月	定例会 (9/16) 敬老の日記念品配布 (9/21)	3月	定例会 (3/13) 正徳寺・落合いきいきサロン (3/19)

【取り組みの事例】	(期間：2025年4月1日～2026年3月31日)
・ いきいきサロンの実施 万力1区（11月）、万力3区（毎月）、落合（11月・3月）、 正徳寺（11月・3月）、上岩下（12月・2月）・小田屋（11月） ・ 敬老の日に記念品の配布 ・ 各研修会や行事等への参加 ・ 配食・布団乾燥サービスの手配 ・ 一人暮らしの高齢者、身体に不自由を持った方、精神的に日常生活に支障を抱える方達への定期的な訪問 ・ 市から訪問同行依頼 ・ デマンドタクシー利用に対する説明、積極利用の促進 ・ 岩手地区との共同研修実施（10月10日 立川防災館）	

【一年間の評価と今後の課題】**（期間：2025年4月1日～2026年3月31日）****＜＜評価＞＞**

- ・ 月一回（6月、7月を除く）の定例会には、時間厳守で概ね全員が出席している。その際、「活動状況報告書集計表」を回収しているが、提出状況も良く積極的に活動している。
- ・ 市からの報告事項の伝達終了後、市の出前講座を通して研修を深めたり、参加した研修の報告をして研鑽に努めている。
- ・ 各地区での活動の事例を通して情報交換を行い、今後の活動に生かしている。
- ・ 地区の社会福祉協議会と連携を図り、活動内容の課題点を改善できた。
- ・ 県、市等主催の研修に積極的に参加し、見識を広めている。
- ・ 各地区の行事に参加し、地区の様子や情報交換の場としている。

＜＜課題＞＞

- ・ 当該者に対する民生委員児童委員と区の役割との共有を図る為、更なる連携を深めていく事。
- ・ 民生委員児童委員の活動内容の更なる周知の為、具体的な対策を考えていく事。

【 定例会の様子 】

- ・ 各地区委員が事例を述べ、他の委員から意見を聞き多彩な問題を解決しようと務めている様子が多く見られ、和気藹々ながら、真剣に職務に向き合っております。

会 長 名 小田切 信夫

副 会 長 名 金子 幹夫

阿部 由美

民生委員定数 9 名

うち主任児童委員 2 名

【年間の主な行事】 (期間：2025年4月1日～2026年3月31日)

月 日	活動項目	月 日	活動項目
4月14日	定例打合せ・マイブーム 地区会長会議報告 全民児連HP動画視聴 民生委員・児童委員の日に合わせた啓発活動「ふれあいカード」配布 民生委員のためのハンドブック交換 民生委員児童委員になって思った事発表	10月11日	定例打合せ・マイブーム 地区会長会議報告 地区会長会議では各地区の問題や相談事などについて話し合うことがあるのか？配布資料の分配、連絡事項の確認など（会議が形骸化しているかも） 第一回ふるさと祭りについて
5月16日	定例打合せ・マイブーム 地区会長会議報告 ふらっと寄り道相談会実施 日帰り研修について「障害者施設・こども食堂見学」年明け実施したい	11月14日	定例打合せ・マイブーム 地区会長会議報告 新旧民生委員児童委員の引継ぎ実施新役員の選任 三年間のご苦労さんと引継ぎ食事会実施（14名参加）
8月19日	定例打合せ・マイブーム 地区会長会議報告 民生委員児童委員協議会会費納入について 敬老祝品の贈呈について デマンド型交通の利用について ハンドブック交換	12月10日	歳末たすけあい贈呈品と「ふれあいカード」配布
9月15日～	敬老祝品贈呈と「ふれあいカード」配布	12月12日	定例打合せ・マイブーム 地区会長会議報告 「活動記録記入のてびき」説明 年末贈呈品の配布状況について 新年の研修会と会議の予定について「日川地区民生委員通信ラポール」編集方針討議
9月19日	定例打合せ・マイブーム 地区会長会議報告 地域の中にも積極的に出向いていく「ふらっとよりみち相談会」も取組の一つ「民生委員協力員制度」について必要性検討 ハンドブック交換	1月16日	定例打合せ・マイブーム 地区会長会議報告 児童福祉施設における備品整備助成金交付申請について「風の子保育園」に申請意向を打診した結果、申請を決定した。併せて施設とこども食堂を見学し昼食をいただくことを決定。3月に出前講座を定例会で実施決定

2月13日	定例打合せ・マイブーム 地区会長会議報告 児童福祉施設備品事業助成金申請書を「風に子保育園」より受取、山梨市役所福祉課に提出 出前講座は「障害を知ろう」に決定し3月17日実施で決定	3月17日	定例打合せ・マイブーム 地区会長会議報告 山梨市役所出前講座 (福祉課：障害を知ろう) 実施 日川地区民生委員通信(ラポール) 3月号について 令和8年度定期総会について
2月21日	風の子保育園見学とこども食堂にて昼食を他の参加者と一緒にいただきました。民生委員参加5名、全体で約40名。デザートもありとてもおいしかった。		

新旧民生・児童委員の引継ぎ

2025年11月13日 & 11月28日



2回にわたり、年間スケジュールや個別の事項を細かく引継ぎできました

風の子保育園こども食堂見学（幼保連携型認定こども園）

2026年2月21日

大人も子供も安心して集え、笑顔になれる場所

栄養満点 とても美味しくいただきました



毎月第3土曜日に行われます



園児の皆が使っているテーブルと椅子でいただきます！

出前講座 「障害を知ろう！」

2026年3月17日

- 01 障害者とは
- 02 障害者の日常生活について
- 03 障害者への配慮について
- 04 民生委員へのお願い

山梨市役所福祉課障害福祉担当
（山梨市障害者基幹相談支援センター）
守屋 絵美さん

👉 障害の有無にかかわらず、暮らしやすい地域づくりを一緒に考える
とても良い機会をいただきました、ありがとうございました！

【一年間の評価と今後の課題】**(期間：2025年4月1日～2026年3月31日)****《評価》**

日川地区民生委員通信を日川地区の全組回覧として130枚印刷発行しています。

タイムリーな記事を掲載しています。

地区定例打合せは議題をPDFで・LINEグループ事前配信し会議内容を周知している。

毎月の日川地区定例打合せにおいては山梨市民児協の議事をフィードバックして、
定例会を含め議事録を毎回作成しています。欠席者にももれなく通知されています。

報告事項終了後、抱えている問題や参加した研修の報告等の情報交換をしている。

(マイ・ブーム)の時間を取り参加者全員が発言して(90秒)意志の疎通を図っています。

日川地区民生委員児童委員としての対外的な行事は少なかったが、個人の活動時間
活動量は増えつつあります。

《課題》

- ・他の地区や他市町村との交流がなかった。
- ・地区民生委員児童委員としての単独のイベントが無く常にお手伝いの感がある。
- ・定例打合せの司会と説明を会長一人で行っていて、単調な会の運びとなっている
司会と説明を別々にしていきたい。
- ・2ヶ月以上前に定例打合せのテーマを決めて、施設見学や講師等も含めて準備
してゆきたい。準備は複数人で行うことを原則とする。

【 定例会の様子 】

2025年11月定例会

会 長 名 林和夫（２０２５年１１月３０日まで） 古屋浩紀（２０２５年１２月１日から）

副 会 長 名 反田暁洋（２０２５年１１月３０日まで） 原田和明（２０２５年１２月１日から）

民生委員定数 9 名 うち主任児童委員 2 名

【年間の主な行事】 （期間：2025年4月1日～2026年3月31日）

- ・毎月第3金曜に地区定例会議実施 ・各種会議（毎月の地区長会議、他会議出席）
- ・各研修会への参加、および研修内容に関して定例会での意見交換
- ・いきいきサロンの運営（参加） ・老人福祉施設との懇談会（年6回）
- ・地区行事（ふるさと祭り、ふれあい祭り）への参加、応援
- ・敬老の日、歳末助け合いにおける激励金（激励品）の配布
- ・地区住民からの相談への対応（各種困りごと、各種証明）

月 日	活動項目	月 日	活動項目
4 月	・定例会開催（活動報告書提出） ・地区長会議出席 ・各研修会への参加 ・いきいきサロン参加（運営）	10 月	・定例会開催（活動報告書提出） ・地区長会議出席 ・各研修会への参加 ・いきいきサロン参加（運営）
5 月	・定例会開催（活動報告書提出） ・地区長会議出席 ・各研修会への参加 ・地域社協年次総会への出席（評議員参加） ・いきいきサロン参加（運営）	11 月	・定例会開催（活動報告書提出） ・地区長会議出席 ・各研修会への参加 ・ふるさと祭り、芸術祭、バザーへの参加者送迎協力 ・社協行事への協力 ・老人クラブ行事への協力 ・いきいきサロン参加（運営）
6 月	・活動報告書提出 ・いきいきサロン参加（運営）	12 月	・定例会開催（活動報告書提出） ・地区長会議出席 ・各研修会への参加 ・歳末助け合い激励金（激励品）の配布 ・対象者名簿の作成（社会福祉協議会との連携）、配布（区長会と連携した配布） ・公民館大掃除への参加 ・いきいきサロン参加（運営）
7 月	・活動報告書提出 ・いきいきサロン参加（運営）	1 月	・定例会開催（活動報告書提出） ・地区長会議、他会議出席 ・各研修会への参加 ・いきいきサロン参加（運営）
8 月	・定例会開催（活動報告書提出） ・地区長会議出席 ・各研修会への参加 ・いきいきサロン参加（運営）	2 月	・定例会開催（活動報告書提出） ・地区長会議出席 ・各研修会への参加 ・いきいきサロン参加（運営）
9 月	・定例会開催（活動報告書提出） ・地区長会議出席 ・各研修会への参加 ・敬老の日激励金（激励品）の配布 ・対象者名簿の作成（社会福祉協議会との連携）、配布（区長会と連携した配布） ・いきいきサロン参加（運営）	3 月	・定例会開催（活動報告書提出） ・地区長会議出席 ・各研修会への参加 ・地域ふれあい祭りの参加協力 ・いきいきサロン参加（運営）

【取り組みの事例】**(期間：2025年4月1日～2026年3月31日)**

民生委員組織の3年間任期の交代時期が12月1日～11月30日の特例により、自治会組織との「ずれ」がありますが、努力と知恵で協力していく中で課題解決、行事運営も可能と思います。

<地区行事>

①ふれあい祭り ②いきいきクラブ（Gゴルフ）大会 ③ふるさと祭り（体育祭）

<民児協＋社会福祉協議会 共催行事>

①敬老の日（激励金、品）の配布 ②歳末助け合い（激励金、品）の配布
③市社協主催 夏季独居世帯への訪問、飲料の配布行事。

名簿作成等を通し訪問、配布による自治会役員との共同交流を通して情報の共有も貴重な課題と思います。

<年末行事>

公民館利用団体による大掃除への参加

<教育行事>

9月 区内小学校6年生とふれあいクラブのGゴルフ（授業の一環）
1月 一年生とふれあいクラブの昔あそび実習（授業の一環）

【一年間の評価と今後の課題】	(期間：2025年4月1日～2026年3月31日)
《評価》 別紙記載報告書参照に有ります各種行事等の参加を通して、地域住民とのふれ合い（愛）で交流に参加することで困り事や行政への相談、それらの情報共有が活動の成果ともなり、貴重な経験、体験となり、活動の効果となっております。 ※地域に民生児童委員、社会福祉協議会の地域組織の存在を有効に活動への使命感、意欲にも相互意識の必要性を実感致します。	
《課題》 時代、価値観の変化と共に核家族、地域の様相の進む昨今、地域自治組織継承の難しい時代に後任の委員、役員の継続が今後の課題と考えます。 ※追記 行政側の今後の課題とも共通の認識が大事かと！！ <所見> 人の心は刻々と変わる。自身を磨き鍛えながら時を逃がさず励ましの人こそ民生児童委員として！！（身上）	
【 定例会の様子 】 ・各委員、各月の研修、資料、課題の共有で高い意識と情報共有の会議の場として有効で有意義な意見交流の場となって居ます。 ・地区委員の地域の責任と役割を共有し、次代に受け継ぐ定例会の場として、また地域を護る組織の共有の場として貴重な意識の向上の場となって居ます。 ※地区社協評議委員として社会福祉協議会の年次総会の参加（地区年次総会）	

会 長 名 中村 和夫

副 会 長 名 井口 桂

民生委員定数 6 名

うち主任児童委員 2 名

【年間の主な行事】 (期間：2025年4月1日～2026年3月31日)

- ・毎月、市の地区長会議を受けて、地区の定例会を行う。
- ・各種研修会、講演会、学校行事、公民館の行事に参加・協力する。
- ・ふれあいサロンの実施計画・実施を行う。

月 日	活動項目	月 日	活動項目
4月 9月～3月	高齢者ふれあいサロン	12月初期	歳末贈呈品届け
6月～12月	福祉のこころ醸成事業へ協力		
8月	ふるさと夏祭り(8/30)		
9月～11月	熱中症対策としてのひとり暮らし高齢者宅への訪問		
10月	スポーツ健康フェスティバル (10/19)		
11月	敬老会(11/2)		

【取り組みの事例】	(期間：2025年4月1日～2026年3月31日)
・スポーツ健康フェスティバル 全世代を対象に、元気あっぷ体操、健康測定、ゲーム大会、食生活指導、グラウンドゴルフ体験、じゃんけん大会を楽しく行った。 ・ふるさと夏祭り 子供から高齢者までの全世代の参加のもとに、カラオケ大会、夜店、花火を実施してふれあった。 ・敬老会 高齢者を対象に、歌唱、コーラス、落語、元気あっぷ体操、津軽三味線演奏が行われた。 ・福祉のこころ醸成事業 地域の方と小学生とのふれあいを盛んにするために、工作教室、グラウンドゴルフ大会、昔の遊び道具で遊ぶ。学校卒業生の講演会が行われた。 ・ふれあいサロン 高齢者の参加のもとに、折り紙教室、器楽の演奏、コーラス、簡単なゲームなどを実施し、高齢者のコミュニケーション機会を過ごした。 ・1人暮らし家庭への訪問 熱中症対策の一環として、1人暮らしの家を訪問し、飲物の贈呈、困り事の相談、見守りについて話し合った。	

【一年間の評価と今後の課題】**（期間：2025年4月1日～2026年3月31日）****＜評価＞**

- ・ひとり暮らし高齢者の健康状態を把握するために、日々の生活の中での見守り・声をかけることを行った。高齢者へのふれあいサロンや、子供達の交流の機会を図った。しかし、行事などが地域全体の周知されておらず、参加者が少なかった。そのため、回覧板による広報を行った。
- ・住民全員が行事に参加できるようにイベント開催時の送迎や高齢者や障害者への生活支援を計画したが、十分に達成できていない。
- ・岩手保育園・小学校の存続の要望を行政に求めたが、保育園の再開の基準についてはまだ示されていない。

＜課題＞

- ・地域全体の課題が把握できていない。一人暮らしの高齢者がどのくらいいるのかがわからない。藤の木団地に民生委員がおらず、住民との交流が少なく、地域とのつながりが減っている。
- ・岩手保育園は現在、休園中である。入園対象児童がいても、他地区に行ってしまう現状である。

【 定例会の様子 】

- ・市の民生委員地区長会議の結果を、地区定例会で民児協委員に報告した。
- ・地域の行事（ふれあいサロン、敬老会など）の計画、協力、準備について話し合った。
- ・地域の困りごとや、相談については討論した。

牧丘地区民生委員児童委員協議会 活動報告書

会 長 名 山本喜幸

副 会 長 広瀬智恵美 古明地まさ美

民生委員定数 32名(欠員1名) うち主任児童委員 2名

【年間の主行事】(期間:2025年4月1日～2026年3月31日)

月 日	活 動 項 目
毎月第3金曜日	定例会(牧丘地区全体) ・市会長定例会(毎月)の報告・各委員からの報告 ・市役所、各種団体等からの調査、配布物等の配分 ・各委員の日頃の活動を通じた意見交換 ・前月活動報告書の提出など
毎月	地区の受け持ちごと、各委員による活動 ・各種困りごと相談 - 生活貧窮、健康、治安、介護、子育てなど ・ひとり暮らしの高齢者を対象とした見守り、声かけ訪問 ・各種証明(調査、確認等) - 配食サービス、生活保護、児童扶養手当など
毎月	牧丘地域ミニデイサービス(市社協主催)への協力 ・毎月実施される手芸、歌、体操などのミニデイサービス事業に対して、住民へ周知などを行っている。
8月15日	ふれあいカードの配布 (90戸)

9月19日	敬老祝い金、物品の届け(市、社協の協力)
11月1日	福祉運動会 (参加者約200名)
11月16日	グラウンドゴルフ大会 社協に協力
12月21日	歳末たすけあい事業 激励金、物品の届け(市、社協の協力)
2月26日	独居高齢者自宅訪問事業

【取り組みの事例】**(期間:2025年4月1日～2026年3月31日)****8月 ふれあいカードの配布**

ひとり暮らしの高齢者が安心して生活できるよう、万一の時、カードを見た人がすぐに、家族やかかりつけ医に連絡できるよう連絡先の住所、電話番号を記入した「緊急連絡カード」を希望者に配布。

冷蔵庫や固定電話の横など、目立つところに置いてもらうようお願いした。

配布戸数 約80戸(牧丘地区全体)

11月 1日 牧丘町福祉運動会

牧丘町社会福祉協議会の実施した福祉運動会に参加し、設営、運営等に携わった。

参加人数 約200名

11月16日 牧丘町社会福祉協議会グランドゴルフ大会

牧丘各地区(諏訪、中牧、西保)の社会福祉協議会がそれぞれ個別に実施するグランドゴルフ大会に参加し、設営、運営等に携わった。

参加人数 約200名(諏訪100名、中牧100名、西保0名)
(西保地区雨天中止)

毎月 牧丘地域ミニデイサービス

山梨市社会福祉協議会牧丘支所が、高齢者を対象とした生きがいの発見や要介護の予防を目的として、牧丘町総合会館で実施する工作・手芸・歌・体操などのミニデイサービスに協力し、地元の民生委員が参加の呼びかけ等を行っている。

年間実施回数 50回(対象:牧丘地区全体)

【一年間の評価と今後の課題】	(期間:2025年4月1日～2026年3月31日)
《評価》 受け持ちの地区で、足が地に着いた行動が出来るようになって来たのではないかな。 例えば ふれあいカードの配布など	
《課題》 ・民生委員の推薦は地区(行政区単位)ごとされるため、1期3年間の任期が終了すれば、再任されることはほとんどない。そのため、民生委員の役割や活動が理解できるころには終了となり、組織としても、個々としてもスキルを上げる事が難しい状況。 ・地域コミュニティーを構築するのが難しい現況のなかで、民生委員児童委員の役割を果たすのは大変なこと。 山梨市の各地区の民生委員会組織においても、その取り組みの度合いに大きな差が見られる。 市には、これらの現状を理解していただき、組織力の弱いところには、きめ細かいさらなる支援・指導をお願いしたい。	
《定例会の様子》 ・定例会は、牧丘3地区(諏訪・中牧・西保)合同で毎月実施している。 市全体の地区会長定例会の報告、依頼、チラシの配布や児童委員の報告が主な議題であったが、最近では、各地区の委員の活動を通じた相談や悩みの報告が各委員間で行われるようなこともあり、委員の意思疎通を図る場ともなっている。	

会 長 名 荻原 眞紀子

副 会 長 名 山縣 祐子

民生委員定数 10 名 うち主任児童委員 1 名

【年間の主な行事】 (期間：2025年4月1日～2026年3月31日)

- ・ 山梨市民生委員児童委員協議会総会
- ・ 毎月第三火曜日 地区民児協定例会 ・ 毎月上旬山梨市民児協地区長会定例会
- ・ 地区社協への協力（6月すこやか講座・10月福祉運動会・11月福祉まつり）
- ・ 三富地民児協研修会 中堅リーダー研修会 主任児童委員研修会 正副会長研修会
- ・ 敬老祝品贈呈・歳末助け合い事業贈呈品届け・共同募金・賛助会費集金(市社協協力)

月 日	活動項目	月 日	活動項目
4月15日	・ 令和7年度避難行動支援台帳の更新及び配布 ・ 山梨市防災アプリの使い方 ・ R7年度山梨市総会について	10月21日	・ 次期民生委員児童委委員における引継ぎの説明・慰労会 ・ 歳末助け合い事業名簿提出 ・ 11/1 福祉まつり役割分担伝達
5月20日	・ 後期高齢者の実態把握 ・ 寝たきり高齢者・認知症高齢者介護慰労金申請・ふれあいペンダント事業・寝具類洗濯乾燥サービス事業・総会反省	11月21日	・ 地区民児協会計報告 ・ 引継ぎ（徽章・門標） ・ 活動報告書の提出 ・ 任期を終了の感想意見を聞く
6月17日	・ スマイルいちのみや視察研修計画 ・ 6/27のすこやか講座役割分担 ・ ふらっとよりみちに全員参加 ・ 三富地区買物支援サービス利用	12月1日	・ 委嘱式・臨時総会・研修会 ・ 三富地区民児協運営申し合わせ ・ 歳末助け合い事業について ・ ミニデイサービス事業協力
7月29日	・ スマイルいちのみや視察 ・ 懇親会	1月20日	・ 活動報告書記録について ・ 配食サービス・保育利用証明 ・ ゲートキーパー研修報告 ・ 児童虐待研修報告
8月19日	・ 民生委員協力制度について ・ 敬老品贈呈の名簿作成 ・ R7一斉改選に伴う推薦状況 ・ 評議委員会全員参加	2月17日	・ 児童福祉施設における備品整備助成金交付申請 ・ 令和8年度民児協各種会費 ・ 強化週間PR活動 ・ 三富地区旗スローガン決定
9月16日	・ 第94回全国民児協大会の報告 ・ 社協役員・区長・民政委員合同会議・独居高齢者訪問について ・ AEDの講習会	3月17日	・ 児童福祉施設備品整備助成金決定 ・ 令和8年度山梨市民児協会費納入・令和8年度山梨市民児協定期総会について ・ 民生委員児童委員報酬の説明

【取り組みの事例】	(期間：2025年4月1日～2026年3月31日)
1. 毎月第三火曜日に地区定例会 2. 民生委員児童委員は地区社協の評議委員なので、社協関連行事には必ず参加し、協力 3. 出前講座で勉強会 5月20日 山梨市出前講座「みんなでゴミ減量化」 6月17日 ふらっとよりみち相談会参加 7月29日 スマイルいちのみや障害福祉サービス事業所視察 8月19日 山梨市役所福祉課出前講座「障害を知ろう」 9月16日 三富地区社会福祉協議会・区長・民生委員児童委員合同会議 AED救命講習会参加 12月5日 三富ミニデイサービス事業協力 1月20日 福祉課より活動記録の記入説明を受ける 2月17日 山梨市出前講座「地域包括支援センターの仕事は！」 3月17日 山梨市出前講座「ここが知りたい『在宅医療・介護』『人生会議』」 4. 県民児協研修参加 1月8日 山梨県新任民生委員児童委員研修会 1月30日 ゲートキーパー養成講座（3名） 2月2日 相談援助技術研修会（1名） 2月4日 山梨市児童虐待防止ネットワーク「チャイルドライン」代表研修会 2月27日 主任児童委員研修 5月14日 山梨県民生委員・児童委員大会参加（会長出席） 9/3～9/6 第94回全国民生委員・児童委員大会参加（会長出席） 10月16日 多職種連携交流会（副会長出席） 5. 市・地区社協へ協力・参加 ・歳末助け合い事業 ・共同募金・賛助会費の集金 ・敬老祝金の贈呈 ・地区評議員会に出席 ・老人福祉大会への参加 ・すこやか講座、福祉運動会、福祉まつり運営	

【一年間の評価と今後の課題】**（期間：2025年4月1日～2026年3月31日）****＜＜評価＞＞**

- ・月一度の定例会では、委員相互で地域の情報交換を密にし、地域全体で見守る、支える、必要機関につなぐなど、全員で協議し対応する体制が継続できている。
- ・地区の行事に、地区社会福祉協議会や各種団体と運営に協力し、地域住民に参加の声かけをし、見守りと住民の交流を広げている。
- ・定例会後に市の出前講座で研鑽を積み、日頃の見守り活動にあたっている。
- ・みとみ山桜会、愛育班、三富民児協共同で、ミニデイサービスでクリスマスやひな祭りを主催し、利用者と一般参加者の交流を図ることができた。
- ・ライン活用は迅速な連絡のみならず、地域の情報や研修報告など有効な情報交換に情報共有・有効な意役立った。
- ・地域防災会議で区長、地区社会福祉協議会、民生委員合同で、地域防災について情報共有、意見交換ができた。

＜＜課題＞＞

- ・三富地区は顕著に高齢化・少子化が進んでいる。健康や暮らしに関する情報や福祉サービス、買い物支援事業などの情報提供と支援をし、地域住民が安心して暮らせる地域づくりに貢献したい。
- ・サロン普及に協力をしていく。
- ・孤独孤立のないよう、住民同士や地域のつながりを広げるために、地域行事やいきいきサロンの普及にも協力し、高齢者に寄り添っていききたい。
- ・今後も県・市の研修会に積極的に参加し、スキルアップをし、情報提供や見守り活動にあたっていく。
- ・三富地区民児協だよりを作成中、全世帯配布し、地区民児協の活動を啓発する。
- ・熊の出没が多発しているので、今後もチラシで注意喚起していききたい。

【定例会の様子】

別紙写真



11/1 福祉まつり



12/5 ミニデイサービスクリスマス会



1/20 活動報告書記録作成



2/17 地域包括支援センター



3/17 人生会議



3/17 在宅医療



クマ注意喚起チラシ

